

第五十回帝國議會 衆議院 請願委員第一分科(內閣、大藏省所管及他)會議錄(速記)第三回

會議

大正十四年二月九日(月曜日)午前十時五十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 長田 桃藏君
主査 小野 重行君

飯塚春太郎君 吉川吉郎兵衛君

小島 證作君 吉良 元夫君

八田 宗吉君 神崎 勳君

齋藤眞三郎君

兼務

近藤重三郎君 高島 兵吉君

土井 權大君 坂東幸太郎君

齋藤仁太郎君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 塚本 清治君

大藏政務次官 早速 整爾君

文部參與官 河上 哲太君

主査ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

横山金太郎君 藤田 包助君

長峰 與一君

本日ノ會議ニ上リタル請願左ノ如シ

一 一時賜金療兵ニ對スル恩給支給法制定ノ件(第二二二號)

二 在外指定學校教員恩給年數加算ノ件(第二三三號)

三 皇位並紀元算定ニ關スル件(第二五二號)

四 隨專賣元賣捌人販賣區域撤廢ノ件(第二二〇號、第一四一號、第一四二號、第一八八號、第二二六號)

五 萬國貨幣法統一ノ件(第二五一號)

六 扶港ニ稅關支所設置ノ件(第二五九號)

七 扶港開港ノ件(第二六〇號)
八 震災地ニ於ケル國稅減免ノ件(第三〇六號)

九 煙草專賣局職工恩給支給法制定ノ件(第三三二號)

一〇 水產養殖業者ニ對スル物品販賣業稅撤廢ノ件(第三三五號)

○小野主査 是ヨリ會議ヲ開キマス、日程第一、一時賜金療兵ニ對スル恩給支給法制定ノ件ヲ議題ト致シマス、紹介議員

○吉良委員 是ハ紹介議員中村啓次郎君ガ見エテ居リマセヌカラ、私カラ代テ申上ゲタイ、是ハ請願文書表ノ二百二號ノ所ニ請願ノ趣旨ヲ明ニ書イテゴザイマス通りニ、此舊軍人恩給法ニ依テ一時恩給受領者ハ洵ニ遺憾ナル點ガアルカシテ、一般ノ恩給法ノ改正ノ恩澤ニ浴スルト云フコトガ出來ヌノデアアルカラ、ドウカ之ヲ恩給支給法ヲ制定シテ裁キタイト云フノデアリマス、ドウカ宜シク願ヒマス

○小野主査 政府ノ意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○塚本政府委員 是ハ只今紹介議員ノ御説明ガアリマシタガ、少シ簡單デ他ノ方ニ御分リニナラナカッタカモ知レマセヌト思ヒマスカラ、政府ノ意見ヲ述ベマスルニ當リマシテ、聊カ請願ノ趣旨ヲ説明致シテ置キタイト思ヒマス、御承知ノ方ガ多カラウト思ヒマスルケレドモ、説明ヲ致シタイト思ヒマスガ、軍人或ハ軍人デナクテモ同様、恩給ハ現在ノ法律ニ依リマスルト一時恩給ト年金恩給ト二種ニ分レテ居ル、一時恩給ノ中ニ軍人ノ戰闘若クハ之ニ準ズベキ公務

ニ依ッテ、負傷、若クハ疾病ニ罹リタ時ニ、其程度ガ重イノニナリマスルト云フト、ソレガ直ニ年金恩給ノ原因トナリ、其輕イノ八年年金恩給ヲ給與サレナイデ、一時ノ賜金ニ止マルノデアリマス、現行法ニ依リマスト云フト、其一時ノ賜金ニ止マルノヲ傷病賜金ト申シテ居リマスガ、請願ニ係ル所ノ現行恩給法改正前、即チ舊軍人恩給法ニ依リマスル所ノ一時恩給法ハ、之ヲ賑恤金ト稱ヘテ居リタノデアリマス、其賑恤金ハ年金恩給、即チ毎年給與サレル恩給ノ原因トナル負傷疾病ニ較ベマスルト云フト、輕イ程度ノモノデアリマス、其輕イ程度ノ負傷疾病ニ罹リタ者ニ對シテハ、恩給年金ノ一年分ヨリ少カラズ、十年分ヨリ多カラヌ範圍ニ於テ一時ニ給與サレタノデアリマス、其額ガ少イ、ソレ故ニ是非之ヲ上セテ、毎年給與サレル年金恩給ト同様ニシテ貰ヒタイト云フノガ此請願ノ根本趣旨デアリマス、之ニ對スル政府ノ意見ヲ申上ゲマスガ、斯様ナ要求ヲ認メマスルト云フト、畢竟一般ノ退官賜金又ハ一時の恩給ヲ受ケタル者ニ對シテモ同様、相當ノ救済方法ヲ講ジナケレバナラヌコトニ立至ルグラウト思フ、ソレハ財政上重大ナル負擔増加ヲ來スベキデアリマシテ、之ヲ俄ニ決定スルコトノ出來ナイノハ勿論デアリマス、又法律ノ上ニ於テ一定程度以下ノ機能傷害ニ對シテハ、一時の給與ヲ以テ處理スルヲ適當ト認メラレテ、先般議會ノ協賛ヲ經マシタ現行恩給法ガ出來タノデアリマスガ舊法上ニ於テモ、同趣旨ニ依リマシテ一定程度以下ノ機能傷害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

テハ、一時的ノ給與ヲ以テ處置スルコトガ適當デアッテ、毎年ノ給與ヲ繼續スルト云フコトハ、其負擔特別ニ重イ者トノ比較上ヨリ適當デナイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ其當時モ立法サレ、現行法モ同様ニ規定サレテ居ルノデアリマシテ、之ヲ崩スコトハ適當デナイト考ヘマス、ソレ故ニ此請願ニ對シテハ、政府ハ之ヲ容ル、コトハムツカシイト思ヒマス

○吉良委員 是ハ私モ餘リ深ク調査ヲ致シマセヌデ、中村君ノ代理トシテ輕々シク致シマシタノハ甚ダ遺憾デアリマス、併シハ會テモ出タ請願デアリマシテ、中々議論セラレタコト、考ヘテ居リマス、ソレデ直ニ採擇ハ無論ムツカシイコト、考ヘマスガ、此文書表ヲ拜見致シマシテ、其事情ハ頗ル諒トスベキモノガアルヤウニ思ハレルノデアリマスカラ、願クハ政府ニ對シテ參考送付トシテ裁キタイト思ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼ブ者アリ

○小野主査 御異議ガナケレバ參考送付ト決定致シマス、次ノ日程第二ハ後廻シトシマシテ、日程第三、皇位並紀元算定ニ關スル件ヲ付議致シマス——紹介議員横山金太郎君

○横山金太郎君 此案ハ屢、請願ヲ致シマシテ、其都度參考送付トナッテ居リマスルノデ、趣旨ハ請願文書表ニ掲ゲテゴザイマス通りデアリマスルガ、詰リ皇統ノ御代數ヲ遠ク天照大神御出現ノ年ヲ以テ紀元トシ、皇位ノ算定モ亦之ニ準シテ貰ヒタイ、隨テ現行ノ曆及教科書モ此意味ニ於テ順次訂正セラレタイト云フヤウナ趣旨デアリマスガ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

害ニ對シテハ、即チ輕微ノ傷害ニ對シマシ

ラ、先例ニ依リマシテドウカ参考送付ニセ
ラレンコトヲ御願ヒ致シマス
○小野主査 参考送付ニ御異議アリマセヌ
カ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○小野主査 ソレデハ左様ニ致シマス、次
ハ日程第五、萬國貨幣法統一ノ件ヲ議題ト
致シマス——紹介議員横山金太郎君

○横山金太郎君 是ハ文書表ニアリマス如
ク、貨幣ノ價格ノ單位ヲ統一致シマシテ、
旅行トカ又ハ文化ノ上ニ資シタイト云フヤ
ウナ意味デアリマシテ、是ハ數回本委員會
ニ於テモ御採擇ニナツテ居リマスルノデ、
其趣旨ニ依テ審議ヲ進メラレンコトヲ願ヒ
マス

○小野主査 本件ハ四十六議會ニ於テモ採
擇ニナツテ居リマスカラ、採擇ニ致シタイト
思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○小野主査 御異議ガアリマセヌカラ採擇
ニ決シマス、日程第四ハマダ關係ノ政府委
員ガ見エマセヌカラ、後廻シニ致シマス、
日程第六ト第七ハ相關係シタ件デアリマス
シ、又紹介議員モ同一人デアリマスカラ、
一括シテ議題ニ供シタイト思ヒマスガ、御
異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○小野主査 ソレデハ日程第六、萩港ニ稅
關支所設置ノ件、日程第七、萩港開港ノ
件、之ヲ一括シテ議題ニ供シマス——紹介
議員藤田君

○藤田包助君 是ハ前議會ニ於テモ本委員
會ヲ通過致シタノデアリマシテ、海岸線ニ
於ケル唯一ノ港タル萩港ヲ開港シテ戴キタ
イト云フ件デアリマシテ、所謂毛利家ノ本
城タル萩ニモ近々鐵道ガ開通スルコトニナ
リマシテ、此港ハ最近ニナリマシテ非常ニ

發展致シマシテ、汽船ハ昨年ハ七千五百、
帆船ハ六百漁船ハ二萬九千、其輸出入金
額ヲ合算致シマシテ、五百幾十萬圓ト云フ
ヤウナ高ニモナリマスノデ、此港ヲ開港シ
テ戴キタイト云フノデアリマス、ドウカ御
賛成ヲ願ヒマス、尙ホ同様ノ意味ニ於キマ
シテ、萩港ニ稅關支所ヲ設置セラレタイト
云フノデアリマス、ドウカ御審議ノ上採擇
アランコトヲ希望致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○小野主査 採擇ニ御異議ガアリマセヌカ
ラ採擇ニ決シマス、日程第八ハ延期致シタ
イト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○小野主査 御異議アリマセヌカラ延期ニ
決シマス、日程第九、日程第十八、共ニ紹
介議員ガ見エマセヌカラ延期ト致サウト思
ヒマス、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○小野主査 ソレデハ日程第二、在外指定
學校教員恩給年數加算ノ件ヲ議題ニ供シマ
ス紹介議員長峰君

○長峰與一君 本請願ノ要旨ハ臺灣、朝

鮮、樺太及關東州ニ在職致シマスル學校教
員ニ對シテハ、法律ノ定ムル所ニ依テ其恩
給年數ニ加算法ノ特典ヲ與ヘラレテ居リマ
スノデ、其趣旨ハ其當時ハ臺灣、朝鮮、樺
太ノヤウナ氣候風土ノ變々所ニ參リマス
教員ニ對シテハ、特ニ恩典ヲ與ヘテ優遇ス
ルト云フヤウナコトデアッタサウデアリマ
ス、然ルニ同様國家ノ爲ニ努力シツ、アル
在外指定學校教員ニ其恩典ノ無イノハ甚ダ
遺憾デアリマスルカラ、此在外指定學校教
員、即チ主トシテ是ハ在留支那ノ居留民ノ
教育ニ從事シテ居リマスル教師デアリマス
カラ、其方面ニモ加算法ノ特典ヲ與ヘラレ
ンコトヲ希望スル次第デアリマス、且ツ年

功加俸ノ規定モ適用セラレンコトヲ希望ス
ルト云フ請願デアリマス、何卒御採擇アラ
ンコトヲ望ミマス

○小野主査 此點ニ付テハ政府ノ御意見ヲ
伺ヒタイト思ヒマス

○河上政府委員 此問題ハ各方面ノ在外者
ノ關係ガアリマシテ、文部省ダケニ於テ決
定スルコトハ困難デアリマスノミナラズ、
植民地ノ在勤關係者ハ特ニ恩給ニ付テ加算
シテアリマスカラ、直ニ之ヲ總テノ方面ト
連絡致シマシテ、此希望ヲ容レルト云フコ
トハ、文部省當局トシテハ答辯ヲ致シ兼マ
スガ、唯、御承知ノ通り在外樺太教員ハ在
留民ノ爲ニ必要デアリマスケレドモ、在外
小學校ニ參リマシテ長ク勤續ヲ致シテ、安
ンジテ其教育ノ任ニ當ルコトハ中々困難デ
アリマス、サウ云フコトデア文部當局ト致シ
マシテハ、此趣旨ニ對シマシテハ同情ヲ持
テ考慮ヲ致シテ見タイト思ヒマス

〔採擇ヲ願ヒマスト呼フ者アリ〕

○小野主査 採擇ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○小野主査 左様ニ決定致シマス、日程第
四、鹽專賣元賣捌人販賣區域撤廢ノ件ヲ議
題ニ供シマス、是ハ第百二十號、第百四十
一號、第百四十二號、第百八十八號、第二
百十六號トアリマスカラ、之ヲ一括シテ議
題ト致シマス、紹介議員

○土井委員 請願ノ要旨ハ文書表第百二十

號ニモ出テ居リマスガ、即チ鹽專賣法實施
ノ當時ハ何レノ方面ヨリ鹽ヲ購入スルモ、
小賣人及需要者ノ自由デアッタノデアリマ
ス、即チ元賣捌人カラ購入スルノハ自由デ
アッタノデアリマス、然ルニ近年大阪專賣
局管内ニ於キマシテハ、元賣捌人ノ販賣區
域ト云フモノヲ一定サレマシテ、元賣捌人
ガ協定致シマシテ販賣區域ヲ定メテ、ソレ

ガ爲ニ供給上ニ不便ヲ想フル者ガアリマス、
折角近クニ元賣捌人ガアルニ拘ラズ、行政
區劃ニ於テ制限ヲ受ケテ居リマス爲ニ、已
ムヲ得ズ遠方カラ買ハナケレバナラヌ、ソ
レガ爲ニ自然此値段ガ高クナルト云フ不便
ガアルノデアリマス、殊ニ此請願ヲ致シテ
居リマスル人々ハ、農家ノ副業デアリマス
所ノ素製製造ト云フコトニ從事シテ居ル所
ノ組合ガ日本ニ多數アリマスガ、此組合カ
ラ請願ヲ致シテ居リマス、サウシテ其人等
ノ申シマスノニ、農家副業組合ノ如キニ於
テモ、年々多數ノ鹽ヲ使用スルノデアル、
然ルニ前段申上ゲマシタ通り是ガ購入ニ非
常ニ不便ヲ感ズル譯デアリマス、故ニ何卒
專賣法實施ノ當初ニ遡リテ、元賣捌區域限
定ヲ無クシマシマフ、サウ云フ風ニシテ戴
ケバ農家副業獎勵ノ上ニ便利デアアル、又產
業ノ發達ヲ助長セシムル譯デアリマス、斯
ウ云フ譯デ請願ヲ致シタノデアリマス、何
卒御審議ノ上ニ御採擇アランコトヲ望ミマ
ス

○小野主査 本件ニ對シテ政府ノ所見ヲ伺

ヒタイト思ヒマス

○早速政府委員 此問題ニ付キマシテハ只
今ノ所、政府ハ此鹽ノ元賣捌人ノ營業區域
ノ協定ヲ撤廢セシムル必要ヲ認メテ居ラヌ
ノデアリマスカラ、サウ御了承ア願ヒマス、
只今紹介議員カラノ御説明ヲ承ッタノデアリ
マスガ、元來此鹽ノ元賣捌人ノ營業區域ヲ
撤廢シタト申シマスモノハ、從前此元賣捌
人ノ營業ノ利益ハ極メテ薄イノデアリマス、
非常ナ制限ヲ受ケテ居リマスカラ、同一ノ
區域ニ元賣捌人ガ數多存在ヲシテ、ソレガ
爲ニ互ニ販路ノ爭奪競爭ヲスル爲ニハ、益
此收益ヲ減少シテ來ルト云フ一ツノ打撃ガ
アッタ爲ニ、元賣捌人達モ是デハイカスト
云フノデ互ニ無謀ノ競爭ヲ避ケテ、營業ノ

ニナリマシタカラ、本日ノ日程ハ是ニテ終
リマシタ、散會致シマス
午前十一時二十四分散會

スルト云フコトニ付キマシテハ、サマデ必
要ナイトハ政府ハ認メテ居ラヌノデアリマ
ス

安全ヲ期スル目的デ、以テ、任意ニ此元賣
捌人ガ合同ヲスルト云フコトヲ申出テ來ル
者ガ段々多クナツテ來テ詰リ元賣捌人ノ方
カラ任意ニ合同ヲシタイト云フ申出ガアッ
タ、其機會ニ當局ノ方デモ元賣捌人ノ合同ヲ
機宜ニ適スルモノトシテ、之ヲ警邁スルコ
トニナツタノデアリマス、其結果ガ詰リ此
營業區域ト云フモノヲ、互ニ協定シテ、定
メルト云フコトニナツタノデアリマスカラ
シテ、是ハ詰リ鹽ノ配給ノ上ニ於ケル責任
ヲ確持スル爲ニ却テ其方ガ利益デアアル、斯
様ニ信ジタニ外ナラヌノデアリマス、只今
御話ニナルヤウニ非常ニ此營業區域ヲ協定
ヲシタ結果、鹽ノ小賣人或ハ素麵ノ製造業
者アタリガ、鹽ノ配給ヲ受ケルノニ非常ニ
不便ノ自由ニナツタト云フ御説デアリマス
ガ、併シ色々此調査ヲ致シテ見マシテモ、此
鹽ノ元賣捌人ハ詰リ合同ハシタケレドモ、合
同前ニ在リタ營業所ト云フモノヲ全廢シタノ
デナイノデアリマシテ、矢張り當局ガ是ガ指
圖ヲシテ、合同シタケレドモ、合同前ノ營
業所ハ矢張之ヲ存置セシムル、或ハ支店貯
藏所ハ之ヲ置キ、從來ノ通り販賣ノ手續キ
ハ執ツテ居ル譯デアリマス、合同前ヨリモ
今日購入上非常ニ不便ガ來タト云フ譯デハ
ナイト思ツテ居リマス、左様ナ次第デアリマ
スカラシテ、今此營業區域ノ協定ト云フモ
ノハ、別ニ小賣商ヤ素麵ノ製造業者ニ不便
ヲ與ヘタモノトハ政府ハ認メテ居リマセヌ
寧口合同ヲシ營業區域ヲ協定ヲ致シタ結
果、鹽元賣捌人ハ責任心ヲ喚起シテ——營
業ノ安定ガ得ラル、爲ニ、責任心ヲ喚起シ
テ、營業ニハ熱心ニナツテ、總テ此鹽ノ準
備ナドモ豊富ニナリ、配給モ敏速ニナツタ
ト云フ風ニ政府ハ考ヘテ居リマス、相當ノ
成績ヲ舉ゲツ、アル、斯ウ云フ風ニ認メテ
居リマスルガ故ニ、只今ノ營業區域ヲ撤廢

○土井委員 只今政府委員ノ御説明ヲ承リ
マシタガ、大體ニ於テ日本全國ハ政府委員
ノ御説ノヤウニナツテ居ルト思ヒマス、併ナ
ガラ此請願ヲ致シテ居ル所ノ、即チ百二十
號、百四十一、百四十二、百八十八、二百
十六ト云フ方面ハ、政府ガ御考ナサツテ居
ルヤウナ便宜ヲ得テ居リマセヌ、現ニ此請
願ノ一部デアリマスルガ、一年ニ千五百萬
斤ヲ一ツノ元賣捌人デ取扱ツテ居ル所ガア
リマス、千五百萬斤ト申シマスルト、東京、
名古屋等ナラバソレ位デアリマスガ、其他
ニ於テ一箇所デ千五百萬斤モ取扱ツテ居ル
所ハ少イノデアリマス、ソレハ即チ區域ヲ
餘リ多ク取過ギルガ爲デアリマシテ、政府
ノ御賛成ナサツテ居ル所ノ區域ヲ限定スル
ト云フ趣旨ニハ適ハヌヤウナ遣方ニナツテ
居ル譯デアリマス、只今紹介致シマスル部
分ハ此方針ニ背イタヤウナ遣方デアリマス
ノデ、特ニ本件ハ御採擇アランコトヲ希望
致シマス

○高島委員 只今紹介議員カラ述ベタ如キ
理由ニ依リマシテ大體鹽ノ專賣元賣捌人ト
云フモノ、其販賣區域ヲ撤廢シナケレバ、買
手ガ却テ束縛ヲ受ケテ、不自由ヲ感ズル場
合ニ立至ルダラウト思ヒマス、幸ヒ隣リニ
鹽賣捌人ガアツテモ、區域ガ定マツテ居ルト
遠方マデ態々買ヒニ行カナケレバナラヌ、
ソレ故ドウカハ是ハ御採擇アランコトヲ希望
致シマス

○小野主査 採決致シマス、採擇ニ賛成ノ
方ハ舉手ヲ願ヒマス
〔賛成者 舉手〕
○小野主査 採擇多數ト認メマス、採擇ニ
決シマシタ、ソレデハ日程八乃至十八延期

大正十四年二月九日印刷

大正十四年二月十日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局